

# 身体の内側から輝く健康野菜を

# 銅加工の町工場が

# 野菜の水耕栽培



豊田市山之手で銅を切削加工している「株ヤマイチ」が2022年から野菜の水耕栽培に取り組んでいる。創業77年目の町工場が100年企業を目指して新たな一歩を踏み出した。

ヤマイチはものづくりの現場に必要な電気抵抗溶接で用いる電極チップ等を製造し、自動車メーカーを中心に販売してきた企業。しかし、コロナ

## 豊田市山之手 (株) ヤマイチ

禍などによる社会の変化に「製造・販売だけでは事業を継承できないかもしれない」とも感じたという。事業を多様化すべく考えた村尾芳朗社長(68)は「食」をテーマに事業展開を決意。前々から興味があった植物工場について調べる中で、先端技術のバイオニアで京都府立大学と研究契約を結んでいる「株恵葉&菜 健康野菜」と巡り合った。

「利益は二の次。付加価値のある野菜づくりをしたい」との想いで業務提携し、昨年2月、工場2階部分を植物工場に改装。自給自足や地産地消

工場の2階部分に完全閉鎖型の衛生的な環境を整え、野菜の水耕栽培を行っている。



工場の1階部分では本業の製造をしている。

を通して地域貢献したい想いもあったという。新設した植物工場は、町工場で培った管理能力を活かし、24時間稼働で温度・湿度・水質・溶液・衛生面など細部まで徹底的に管理している。天候に左右されず年間を通して40日前後で安定的に収穫できるそうだ。

薬などで洗わずに食べられ、日持ちもする。LEDの先端技術によって高抗酸化値×低硝酸でエグ味がなく、美容や健康にも良いそうだ。

栽培しているのはリーフレタス類、小松菜、水菜、壬生菜などの葉物野菜10種類ほど。無農

今後はWEB販売の拡大、植物工場の大型化、栽培装置の販売も行っていくという。近々、野菜の自動販売機も設置予定だ。小学校等の工場見学も受付けている。詳細はQRコードから。野菜の購入や問合せはヤマイチ(☎28・1446)へ。

【有我都



【有我都